

第61次南極観測隊にインタビュー



て ら む ら

寺村たからさん

- 国立極地研究所 広報室所属。
夏隊 情報発信担当。
好きな食べものはうどん、そば、塩辛。



南極観測隊に参加したきっかけはなんですか？

冬ごろか春ごろに「61次で行けるかもしれないけど、行く？」と聞かれました。極地研で働きはじめて5年以上経っていますが、まさか自分が行くことになるとは思っていませんでしたので今でも意外に感じます。



第61次隊ではどんな研究やお仕事をされるのですか？何が楽しみですか？

観測隊員の仕事をレポートして、ブログや極地研公式 SNS で日本に届けます。昭和基地からのライブ中継も予定しています。

これまで極地研で数々の研究成果の広報に関わってきました。それらの研究は、私のところに連絡が来た時点ですでに「成果」として形になった研究ばかり。しかし今回、研究者たちが観測をしている、まさにその“現場”に立ち会えることになり、とてもわくわくしています。南極という特殊な環境で、輸送や通信の手段が限られる中、研究者や技術者がどんな様子で観測や設営を進めているのか、その仕事ぶりや試行錯誤をしっかりと見て、観測の意義や科学的面白ポイントと一緒に皆さんにお伝えしようと思っています。

また、61次隊には、「教員南極派遣プログラム」で選出された茨城県立守谷高校の北澤佑子先生が同行します。北澤先生が昭和基地から中継授業を行うときのサポートも、私の重要な任務です。



一言メッセージをお願いします！

61次隊ブログをお楽しみに！ SNS もフォローお願いします！
Twitter @kyokuchiken Instagram @nipr_japan